



平成27年5月14日

各位

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社
 代表者 代表取締役社長執行役員 若山 健彦
 (コード番号 6862)
 問合せ先責任者 執行役員管理部長 門井 豊
 (TEL 045-591-5611)

業績予想と実績値との差異及び特別損失に関するお知らせ

平成26年5月9日に公表した業績予想と本日公表の実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,500	32	13	1	0.04
今回修正予想(B)	2,278	△71	△90	△110	△4.86
増減額(B-A)	△222	△103	△103	△111	
増減率(%)	△8.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	—	—	—	—	—

修正の理由

1. 業績予想差異について

タッチパネル事業でATM用中型タッチパネルとデジタルサイネージ関連の受注が計画より減少したこと、及びシステム開発関連事業での技術者採用難による売上未達などにより、平成27年3月期通期連結業績の売上高につきましては2,278百万円(当初予想との差異△222百万円)となりました。
 利益面につきましては、子会社である株式会社イーアイティーとの事業統合を進めていく中で、タッチパネルセンサー関連在庫について29百万円の評価損を計上し、また、デジタルサイネージ分野で路上工事現場用デジタルサイネージ商品販売に絡んだ21百万円の貸倒引当金を計上したことにより、営業利益△71百万円(当初予想との差異△103百万円)、経常利益△90百万円(当初予想との差異△103百万円)、当期純利益につきましても△110百万円(当初予想との差異△111百万円)となりました。

2. 特別損失の計上について

保有している時価のないその他の投資有価証券について、同社の業績や収益性に鑑み、回復可能性を慎重に検討した結果、27百万円の投資有価証券評価損を計上し、また、タッチパネル事業のセグメント利益が損失を計上し収益性が著しく低下したため11百万円の事業用固定資産を減損損失として、いずれも特別損失に計上いたしました。

以上